

文教厚生委員会 委員会活動報告 (要旨)

調査テーマ

「文化振興について」

半田市における「文化」の現状は、観光PRでも言われる「山車・蔵・南吉・赤レンガ」をはじめとした歴史的な文化が豊富にあり、文化芸術活動についても盛んで、半田市美術展、半田市民合唱祭、半田市民管弦楽団の定期演奏会など、いずれも多くの市民団体が活発な活動を行っています。

これら、半田市における「文化」は、どの分野においても他市に誇るべき、素晴らしいものであることは間違いありません。しかし、各分野において「文化」に関する活動が活発であるがゆえに、これまで半田市としての意思や方針が具体的に示されないまま、現在まで至っています。

半田市における文化振興の取扱いは、第6次半田市総合計画では、

「生涯学習の推進」の一部として位置付けられており、国が「文化芸術基本法」で示す方針とは、大きく乖離した取扱いとなっておりま

す。半田市の状況を踏まえ、当委員会が県内外を調査研究した結果、委員から出された意見は次のような内容でありました。

- ・文化振興に対する明確な目標を定めるなど、文化振興を重要な施策として位置付けるべきである。

- ・文化振興では、幅広い分野を対象とし、文化政策の推進を図り、まちづくりの根幹となるよう整備を進めるべきである。

- ・文化振興基本計画を策定する際には、市民アンケートを実施し意見や浸透具合を調査し、重点取組項目と施策の体系が分かりやすい内容とすべきである。

- ・市民が自主的に行ってきた活動を更に充実させるため、半田

市として、関わる人の輪を広げ多くの市民に興味をもってもらう施策を充実させるべきである。

以上の意見を踏まえ、当委員会は文化振興について、以下3点の提言を行いました。

一、第七次半田市総合計画の策定において、文化振興をこれまでの生涯学習の枠から外し、確実に推進するために位置づけ、文化振興基本計画を策定すること。

一、文化振興基本計画の策定においては、対象となる文化を幅広く捉えて、学識経験者や専門的な識見を有する方々を交えた会議を設置し、関係者からの幅広い意見を踏まえて進めること。

一、文化振興の所管部署については、文化振興は教育が目的でなく、まちづくりの根幹を担うべきものであることに鑑み、市長部局に置きその求められる機能を充分発揮できるようにすること。

市として、関わる人の輪を広げ多くの市民に興味をもってもらう施策を充実させるべきである。

以上の意見を踏まえ、当委員会は文化振興について、以下3点の提言を行いました。

日本福祉大学生との意見交換会を開催!

令和2年1月30日



多くの方に市議会に関心を持っていただける「市議会だより」を目指し、半田商業高校生、半田高校生との意見交換会に続き、日本福祉大学生の皆さんからご意見をいただきました。

大学生の皆さんからのご意見 (抜粋)

- ・若い世代にはSNS、例えばインスタグラムで発信してはどうか。
- ・表紙の「はんだ」が大きすぎて「市議会だより」とわかりづらいのでフォントにも注意した方がよい。
⇒今号から表紙デザインを変更しました。
- ・全てをカラーにすると費用面で難しいのかもしれないが、一部、例えば写真のあるページだけでもカラー印刷にしてはどうか。
- ・子ども向けの華やかなページがあると良いと思う。
- ・QRコードで市ホームページ内の『市議会だよりのページ』に直接とべるとよい。
⇒今号から変更しました。



日本福祉大学健康科学部福祉バリアフリーデザイン専修
宮成伶芽さん、萩野憲也さん、品川千穂さん、伊藤大地さん

ご協力いただきありがとうございました。
できることから速やかに改善し、多くの皆さまに読んでいただけるよう努めていきます。

(半田市議会広報委員会取材班)